

令和元年度第3回浦安市介護保険運営協議会議事録

1. 開催日時 令和元年10月18日（金） 午後1時15分～午後3時

2. 開催場所 浦安市役所 4階 災害対策本部室

3. 出席者

（委員）工藤委員（会長）、岡崎委員、井村委員、豊後委員、笠井委員、相原委員、森下委員、宮部委員、伏見委員、松崎委員、グスタフ委員

（事務局）植草福祉部長、河林福祉部次長、築地介護保険課長、磯貝高齢者福祉課長、小川高齢者包括支援課長、並木猫実地域包括支援センター長、醍醐健康増進課長
介護保険課：須賀課長補佐、河野係長、加納係長、中村主任主事、渡部主事
高齢者包括支援課：斎藤課長補佐、梅木主任主事
新浦安地域包括支援センター：富永所長
高洲地域包括支援センター：平子所長
富岡地域包括支援センター：青野所長
浦安駅前地域包括支援センター：日下部所長

4. 進行

1. 会長あいさつ

2. 議題

（1）浦安市高齢者等実態調査、介護保険事業計画策定に伴う基礎調査、及び日常生活圏域ニーズ調査の実施について

（2）その他 ①第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託について

3. 閉会

5. 会議経過

事務局：今年度、令和3年度からの3か年における浦安市高齢者保健福祉計画、及び第8期介護保険事業計画の策定に伴う基礎調査を行います。調査の種類は、全部で四つです。高齢者等実態調査、日常生活圏域ニーズ調査の実施、浦安市介護保険事業計画策定に伴う基礎調査、在宅介護実態調査です。

調査の目的は、高齢者等実態調査については、65歳以上の高齢者の単身世帯、高齢者のみの世帯、及び40歳から64歳までの世帯の在宅生活に必要な支援を把握するために行います。また、日常生活圏域ニーズ調査については、市全域、及び日常生活圏域ごとの地域課題を把握するために行います。そして、浦安市介護保険事業計画策定に伴う基礎調査については、介護認定を受けている方、及び

介護サービス提供事業者を対象に、市全域及び日常生活圏域ごとに高齢者の実態、潜在的なニーズを把握するために行います。

対象者は、市内1万7,850人です。

調査項目は、国から示されている項目を中心に調査項目を作成しております。

前回との違いとしては、ASCOT指標を導入したことです。

ASCOT指標は、社会的なケアのアウトカム指標の一つです。個人の社会的ケアに関連する生活の質に関わる情報を把握することを目的に開発されたものです。イギリスでは、国レベルでの高齢者の利用者調査等に利用されております。

委員： ASCOT指標は、全国の自治体も同様に導入しているのか。

事務局： 浦安市が独自で導入を検討しています。

委員： そうすると、他の自治体のこのような調査とこの部分は比較ができなくなるということではないのか。

事務局： 浦安市の特徴というものを把握するための質問項目として、今回こちらを導入させていただきたいと思っています。

委員： 前回の調査回答率が63%とあるが、今回の回答率はどのあたりを想定しているのか。

事務局： 市民の皆様の意識が大変高いと認識しておりますので、前回と同程度の水準を想定しています。

委員： 前回調査の回答率が63%ということだが、全国的にも浦安市は回答率が高い傾向にあるのか。

事務局： 全国の回答率は把握しておりませんが、参考までに前回の単身の方ですと62.6%で、高齢者のみ世帯では74.4%に回答をいただいておりますので、回答率としては高いと思っています。

委員： 見える化システムについては、ASCOT指標や、浦安独自のアンケート項目等も見えるのか。

事務局： 見える化システムにつきましては、ASCOT指標や市の独自設問については仕様として含んでいませんので、これを見ることはできません。基本的には

これから調査をいたします圏域ニーズ調査や、介護保険の事業計画策定に関する給付の推計データ等を推計するものになりますので、市独自設問等については閲覧することはできません。

委員： 前回の調査で、不明点の問い合わせはどの程度あったか。

事務局： 問い合わせはありましたが、混乱したということはありません。

【議題（2）について】

指定居宅介護支援の委託については承認されました。

6. 問い合わせ先

福祉部 介護保険課保険料係担当 加納・渡部
電話 047-351-1111 内線 15505・15506